5月8日 日曜日 7日発行
昭和30年西暦1955年
発行所 内外タイムス社
東京都中央区銀座3の5
電話（代表）京橋（56）8646
（直通）販売（〃）0437 広告（〃）3995
編集局 港区芝田村町5の6
電話代表芝（43）1163番
東京 振替貯金口座 170071番

内外タイムス
THE NAIGAI TIMES

第3089號 （昭和24年6月27日第三種郵便物認可・昭和24年5月27日國鉄特別扱承認第232號）
（中華郵政台字第637號執照登記爲第2類新聞紙類・内政内政部登記證内台誌字第0136號）

あすの暦 5月8日・日 旧3月17日
月齢 15.6
日出 前 4.43
日入 後 6.32
月出 後 7.57
月入 前 5.07
満潮 前 5.00 後 6.35
干潮 ― 0.00
（大潮）

天気予報
今晩 南のち北東の風曇りがち南部では夜ふけて一時雨
明日 東寄りの風曇時々雨、南部は大体雨、日中の気温は低目

政局担当の決意表明

政府・與党 岸幹事長談の形式で

予算成立に全力

保守結集 国会後に呼びかく

岸幹事長

岸民主党幹事長は七日午前、政局対処策について談話を発表、政局担当の決意を再び表明した、これは六日午後の党四役会談の話し合いで

一、予算の成立その他公約の実現に努力する

一、三木談話についていろいろ誤解があるので、この際保守勢力の結集についての真意をなんらかの形で表明する

ことに意見が一致したので鳩山首相に報告、首相の了承を得て発表したものである、政府与党が改めてこのような決意を表明したのは「政策の話合いを民・自結集の足がかりとする」との印象を党内外に与え、この結果党内的には不統一を暴露し、党外的には自由党に警戒心を起させて逆に民自両党話合いのチャンスを遠ざける傾向を生んでいるからで、そのため党四役会談で「政策の話合は保守結集のためではない」との意向を明らかにするとともに、予算その他重要案件の成立を期して断固とした態度で国会運営にあたり、国会乗切り後に保守結集を自由党に正式提唱することになったものである

したがって岸談話はさきの三木談話いらい「鳩山内閣は弱体」であるとの誤解を一般に与えたことを打消す態度といえる、しかし国防会議の設置、選挙法改正などの政策について自由党の協力を求めて行く態度には変りはない

岸幹事長談

岸民主党幹事長は七日午前九時十分から院内総理大臣室で鳩山首相と会見したのち、政局対処策について次の岸幹事長談話を発表した

総選挙の結果わが党は国民の意思にもとづいて政局を担当するに至ったものであるから、わが党はあくまでも予算の成立その他公約の実現に向って全力をあげて国会の運営に当ることは当然である、しかしながら政局を安定し、一層強力に諸政策を実現する要があるという世論の要請に備えて、これを実現するようにわれわれは謙虚な気持で努力すべきである

保守勢力の結集は「独立完成に必要な諸政策を強力に推進する」ためであってもとより一党一派の問題ではない、従って保守勢力の結集のため必要とあらばわが党は解党をあえて辞するものではない

何ら意義なし

石井自由党幹事長談 岸談話だけでは自由党はなにもいうことはない、民主党だけでは政局担当はできないことがやっと判ったようだ、それならば正式な手順を踏んで自由党に臨んでくればよいわけだ、党幹部と鳩山首相の意見も食いちがっているようだし、岸談話は民主党の内部統一を狙って出されたものと思う、自由党はこれになんらの意義も認めない

郵政関係二法案提出

政府は七日午前つぎの二法案を衆院に提出した

一、郵便貯金法一部改正法案

一、郵便振替貯金法一部改正法案

自衛隊強化は空軍に重点

日米の意見一致

【ワシントン六日発ロイター＝共同】ワシントンの権威筋が六日語ったところによれば、日米両国はこのほど日本が均衡のとれた自衛隊をつくりあげるにあたって今後空軍力に重点をおくべきだという点で意見が一致した、しかし日本が自衛力強化の一環として飛行場の滑走路を拡張するという決定は今後ただちに日本の航空自衛隊に長距離爆撃機が配属されるということを意味するものでなく、日米安保条約によって日本に駐留している米空軍によって使用されるものと解されている

解決策提示？

バオ主席、ダレス長官に

【パリ六日発UP＝共同】バオダイ南ヴェトナム主席は七日ないし八日パリでダレス米国務長官と会談南ヴェトナム情勢について討議する

これに先だってバオダイ主席は六日午後ディロン米駐仏大使のもとにプー・ロック前首相からバオダイ主席の南ヴェトナム問題の解決策を伝えたといわれる消息筋によれば同構想は国民議会を選出、新政府が樹立されるまでの間六名ないし七名から成る国家審議会がゴー首相と合議制をとることを要求しているといわれる

政界春秋

政変は始っている

細川隆元

政変はもう始っている。三木武吉が保守勢力結集のオブラートに包んで、体よく鳩山内閣に引導を渡して以来、民主も自由も政変に備えて複雑な動きを示し始めた。確かに政変は始まっているのである。次の総理は誰か？ いや誰にしようとするかによって動きが種々雑多になるのだ

政界随一の定評ある怪物三木が、実際やってみて、鳩山では駄目だとさっさと見切りをつけたのだ。

三木をしていわしめれば「一日でもいゝから総理大臣になりたい」鳩山及び薫子夫人の悲願をかなえてやったのだから義理はお釣りの来る位相済んでいるのである。弱い体を張り通さずとも、あと一〜の見すえがチャンとついたならさっさと退陣して余生を安らかに送れば正に上々吉、前の吉田茂があれ程の政治的功績を残していながら引際が悪かっただけで今日もなお悪者のようにいわれるなんて全く野暮なことではある。鳩山自身も一時は三木の暴言に嫌な気持ちを示したが、近頃は警戒しながら三木の気持により添う外ないかも知れぬといった心境のようである。

こういう訳でいよいよ始った予算審議でさえもが、この舞台裏の政変に備えるためのもろもろの動きの反映でしかない。だから自由党も余り野党色を発揮し過ぎると却って民主党の内部を固まらせて、棚ぼた式の政権頂戴の邪魔に支障を来たすというので総裁の緒方竹虎なども非常にゆとりのある野党振りを見せようとこのところ大変慎重に構えている。自由党主流の考え方は、鳩山が投出した後は、自由党を脱した鳩山一派や旧自由党系を打って一丸とした勢力で緒方首班に持ち込まうというのである。だからこそ民主党内の重光及び旧改進党系の大麻、松村などはしきりに三木策動に反撃しているのだ。

今の民主、自由両党は一口に与党、野党といっても民主党内にも与党、野党があり、自由党内にも野党、与党があるのだ。鳩山の跡目は是非重光に継がせたいと躍起になっているのが、旧改進党系であり、重光よりもむしろ緒方の方がましだろうとみているのが旧自由党系である。ことにダーク・ホース一万田尚登の存在が問題になるが、一時は「この俺が…」と自信と野心を半々に持ってはみた一万田であったが、実際に選挙をやり、大臣になってみると、成程政治家のむずかしさがしみじみ判って、ことに一万田株の下落を見るに及んで、最近の一万田は、何うやら緒方を考えているという噂が専らである。確かに緒方、一万田の間に何か相通ずるものがあることは確かである。緒方の目の上のコブは敵陣営にあるというより、自分の方の吉田側近であろう。池田、佐藤、保利、福永等の一派は金と腕にたよってあばれるだけに紳士型緒方・石井のコンビでは一寸手うすの感がある。

こういう情勢だから保守勢力結集は三木のあげたアドバルーンにも拘らず、なかなか実現はむずかしかろう。むしろこれをきっかけに民主党も自由党も、もう一ぺん再編成されることになるのではなかろうか。鳩山の政治的投出し、或いは肉体的投出しの何れかの場合において。

公約の行方追及

ふえる防衛費にメス

赤松氏（左社）

衆院予算委員会 衆院予算委員会は七日総括質問戦の第二日を迎え、前日に続いて野党代表が外交、内政諸問題をとりあげて政府を追及した、この日はまず左社の赤松勇氏が立ち、日米防衛折衝を中心に防衛費の増額による内政費の圧迫を批判、さらに日ソ・日中国交、東南ア開発、貿易振興などで政府に激しく迫り、特に内政問題については本予算案は公約無視と断じて食いさがった、午後は今澄勇氏（右社）が同様の問題をとりあげて質問し、夕刻総括質問第二日を終る予定である

赤松氏 首相は追放中廿六年二月石橋湛山、石井光次郎、野村吉三郎三氏とともにダレス氏と会見、自民社三党連立内閣について意見書を出し再軍備、憲法改正等を協議したが、意見書の内容を発表せよ

鳩山首相 個人の意見で公表する性質のものではない

赤松氏 首相は本年一月九日アリソン書簡とダレス氏の伝言を受取ったはずだが、その内容を明らかにせよ

首相 アリソン氏の手紙は公文書ではない

赤松氏 卅年度防衛分担金削減交渉における米側の意向について説明せよ

外相 米国の意向を聞かなければ発表できない

赤松氏 それでは独立自主外交に反するではないか

外相 それは国際慣例である

赤松氏 防衛分担金は駐留軍が引揚げるにしたがって減るはずだが廿七年から廿九年まで防衛庁費が五百億円も増えていながら分担金は六十五億円しか減っていない

外相 そのために削減交渉をしたわけである

赤松氏 飛行場建設など予算外契約や前年度繰越金等を勘案すれば減っていない

外相 防衛力漸増は条約上の義務だ

赤松氏 大蔵省は防衛庁費を八百億円に押える方針だったが、八百六十八億円にふえたことは米国の要求に屈服したことだ

外相 あの程度の線は日本の利益に反しないばかりでなくその方が良いと思った

首相 自分の国を護る費用はやむを得ない

赤松氏 分担金交渉で明らかになったことは日本政府の手で予算が編成できないということだ

首相 予算をつくるのに米国の指示は受けない

赤松氏 分担金を二百億円減らして減税や住宅に回すという公約はどうなったか

首相 私が頭の中で描いた一つの図面である

赤松氏 夢を国民に公約するとはあきれた話だ、日米共同声明の結果卅一年度の防衛費は千六百卅一億円となり三百億円もふえることになるが、この結果国民生活は動きがとれなくなり、民政費をふやすことも経済六ヵ年計画も完全雇傭もできなくなる、一体政府はどんな交渉をしたのかその内容を示せ

外相 いままで説明したとおりである

赤松氏 説明がなければ以後の質問はできない

外相 分担金交渉は安保条約、行政協定、MSA協定、岡崎・ラスク議事録にもとづいて交渉した

この時今澄勇氏（右社）が議事進行について発言を求め政府の答弁は不誠意であるから交渉経過を報告するまで休憩せよとの動議を提出、賛成多数で十一時廿分休憩

ネリ大使 首相 外相に挨拶

六日午後来日したフィリピンの対日賠償交渉団首席代表ネリ大使は七日午前九時四十五分院内に鳩山首相を訪問、来日の挨拶を述べ、重光外相も同席懇談した

イエーメン首相も 五日来日したイエーメンのサイフ・エル・イスラム・エル・ハッサン首相は、ハッサン・イブラヒム駐英大使とともに七日朝九時卅五分、院内大臣室に鳩山首相をたずね、来日のあいさつを述べた、なお重光外相高碕経審長官も同席した

写真(上)は鳩山首相と会見するネリ比島首席全権（右から鳩山首相、ラサール局長、ネリ全権、重光外相）と(下)はイエーメン首相（左）と握手を交す鳩山首相（右）

あす三国外相会談

ダレス長官出発声明 西欧に新たな希望

【パリ六日発ロイター＝共同】米、英、仏三国外相は八日午後三時（日本時間同日午後十一時）から仏外務省で会談するが、パリの権威筋が六日語ったところによればアデナウアー西独首相はこの会談に二時間程おくれて参加するようである

なお権威筋によれば九日から三日間にわたって開かれる北大西洋条約理事会が終ったのち十三日にふたたび三国外相会談が行われるかもしれないといわれる

会議は主としてインドシナ、台湾、A・A会議、インドネシアなどの諸問題が主要議題となるものとみられとくにインドシナ問題については米、英、仏三国がどういう態度をとるかは政府と反乱軍の衝突いらい大きな政治危機におちこんでいるサイゴンの情勢に大きな影響をおよぼすことになろう

台湾問題はとくにダレス長官とマクミラン外相の間の中心問題としてとりあげられるものとみられる

【ワシントン六日発ロイター＝共同】ダレス米国務長官は北大西洋理事会出席のため六日午後五時五十九分（日本時間七日午前六時五十九分）ワシントン出発、空路パリに向ったが、出発に先立ちつぎのように語った

西独の主権回復とオーストリア主権回復条約会議は西欧連合国の目的達成に新たな希望を与えた、私は来週北大西洋理事会の会議室に西独代表を迎えることができるのを楽しみにしている、私は国務長官になって以来たびたび海外に出張しているが、今回ほど大きな確信をもってワシントンを出発したことはない

私は新たに主権を得た西独が北大西洋条約加盟国となるのを歓迎するパリ諸会議が欧州の歴史に新たな一章を書き始めるものと信じている、この章は統合された自由な新欧州の実現を記録することになろう

早ければわれわれがパリで会合している間にすでにウィーンではオーストリアに自由と独立を与えるためのわれわれの十年の長きにわたった努力が成果を得ることになるかも知れない

西欧側が長い間実現のため努力して来たこの二つの目標の達成はさらに新しい、より高い目標の達成に希望を与えるものである

上ダレス長官 中マクミラン英外相 下ピネ仏外相

粋人辞事

誘惑願望

矢野目源一

妙齢の女性をフロイド風な精神分析の目で見ていると面白い。御当人は何の気もなくしていることでも、たとえそれが清純な制服の処女でも、ソロソロ崩したなということは、その服装品の好みを見るとわかる。

よく胸飾りに鎖でブラ下げた木靴とか、黄金の鍵などがある。靴は足を入れるものである。足入れが何を暗示するか、ここは一つ読者諸君の意識に待とう。黄金の鍵に至っては大切な宝石箱（出すな見せるな貴重品）の鍵穴へさしこんで、これを開ける道具である。靴や鍵が鎖で下っているところが問題なのである。垂れ下っていれば、これが動きにつれてブラブラする。

昔から女の持物や簪や財布などに、鈴やビラビラや針金仕掛の微動するものがつけてあるのも同じ心理である。

塞口や函迫（はこせこ）にわざわざ飾り玉や銀のビラビラをつけて懐中からのぞかせ、いかにもそこに貴重品があるということを人に示そうというのが昔の若い女の装飾の方法である。現在ではイヤリングの流行になっているがこれがいずれもチラ〜と閃いたり震動したりする物質で、男の気持をチラ〜させて、魅力を与えようとする。その魅力は品物がいまにも墜落（堕落）しそうに見えることの不安の警告であって、その落ちそうな不安を救おうとして、男の注意がそれにむけられる。

これは一種の意識せざる（意識下には存在するところの欲望）誘惑であり、いいかえれば墜落したい願望の意識しないあらわれである。娘の墜落（おっこち）が何を意味するか、これも御一考をわずらわしたい。

鎖のさきにある象徴に墜落の危険を意味させることは、とりもなおさず、触れなば落ちん風情を示すことなのである。（相変らず無意識的に）

同じようなことが流行のドレスなどにも見られる。

「麗わしのサブリナ」というヘップバーンの映画が来たと思ったら、女の子がトレアドルパンツという昔の人力車夫のはくような、さきのつまったズボンをはいて歩くのが流行しはじめた。ご承知の通り、こういう形のズボンは、骨盤から尻の形を対比的に大きく見せるものである。

これでは大きなお尻を見てくれと、端的に誘惑しているようであるが、それを「流行だから」という口実でさり気なくカムフラージュしているところ、まことに可憐である。あれを見ると私はまったく露出趣味ではないかと空恐しくなるのだが、ご当人は一向に涼しい顔をしてござる。そんなことでもはしたなく指摘しようものなら、「まァおゲレツね」と退治されそうである。

私は最近若い女の子で、ビッコのくせにハイヒールをはいて歩いているのに出会ったことがある。いくらハイヒールが流行だといって、片足が短かければ、その方だけにハイヒールをはいて、片足は底のフラットなものをはけば釣合いがとれてよろしかろうと思ったのだが、アヒルが小犬に片足噛みつかれたような格好で、大仰に調子をとるため、両手まで振ってのハイヒールを無理しているのは、これも墜落願望のあらわれではないかと、後になって考えたことである。もっとも、こういう危なっかしいの、ことにビッコに対しては男性の方の救助願望というコンプレックスが働いて、若い変人が出現してくれる率が多いというからまことに「天道人を殺さず」である。

流行を追う心理の中には、「人におくれをとるまい」という競争意識のほかに、それが隠されたる願望を表出するのに都合のよいものがあると一層流行に拍車がかけられるのが多い。まして、女性は自分以外の同性は全部商売仇のつもりでいるにおいてをや。

世間のドンファンといわれ、色事師と称する輩は、女学生の胸にブラ下がった木靴を見るだけで、ジワジワと行動を起してくるから御用心遊バセヨ。

東京株式仲値

□新株落△配当落（7日前場終値）

銘柄	値	銘柄	値	銘柄	値	銘柄	値
特定銘柄		昭電工	75	旭化成	310	カボン	50
東海上	291	日本曹	73	山陽パ	99	三井物	140
郵船	57	旭電化	75	日本パ	91	第一物	98
新三菱	89	三菱造	73	国策パ	96	白木屋	―
日清紡	276	三井造	104	東北パ	114	高島屋	71
味の素	293	三菱重	60	大東紡	92	日活	81
三越	277	石川重	93	商船	53	松竹	205
平和不	201	[illegible]工	140	三井船	48	東宝	1260
三井金	107	東洋ベ	117	飯野海	42	大映	174
三菱鉱	87	日立造	43	西武	350	日本粉	121
日鉱	77	浦賀	44	藤田興	228	日清粉	147
住友金	95	日平	25	東京ガ	65	日本ビ	154
三菱鉱	40	古河電	67	東電	425	朝日ビ	177
古河鉱	67	日立製	69	日銀	1800	キリン	198
同和鉱	110	東芝	66	東銀	80	宝酒造	79
住友炭	60	三菱電	86	三井銀	70	台糖	228
三井山	57	小松	62	富士銀	86	明糖	108
北海炭	51	日本光	142	日証金	92	甜菜糖	110
東邦亜	62	キヤノ	143	安田火	113	野田醤	190
帝石	67	東京光	40	大正海	90	森永	271
日石	93	東洋紡	134	住友海	79	昭[illegible]	165
昭和石	95	鐘紡	123	千代田	74	日水産	74
東燃	112	富士紡	108	鋼管	66	昭和産	90
三菱石	100	大日紡	80	日製鋼	73	東洋醸	68
大協石	117	日東紡	60	八幡鉄	51	合同酒	99
日東化	70	片倉	35	富士鉄	50	三楽	80
日産化	73	呉羽紡	78	神戸鋼	56	大阪糖	153
三菱化	97	東邦レ	104	日特鋼	127	王子紙	195
三井化	105	帝麻	65	日軽金	173	十条紙	207
協和醱	111	中繊	54	日金工	58	本州紙	86
東合成	105	帝人	118	日セメ	121	三菱紙	92
信越化	82	東洋レ	160	磐城セ	235	北越紙	47
東高圧	114	三菱レ	120	小野田	77	三井不	792
		倉レ	77	横浜ゴ	203	三菱倉	508
				旭硝子	140	三井倉	83
				富士写	116	渋沢倉	92
				小西六	106	東洋埠	185

市況 続進歩調

一両日のもどりで市場の人気はようやく明るさを取戻しており、大証券筋も優良株中心の味付買を続けているので市況は休日控えにもかかわらず全般に続進商状をたどり七日のダウ平均も三百五十二円五十一銭と前月比二円八十五銭高となり約一旬振りで三百五十円台を回復した、特定株薄商内ながら売物薄のおりからマバラ買が続いてほとんど一三円ガジリ高歩調、雑株も資源、パルプ、石油、鋼器、化学、金ヘン株などの一部に大証券の物色買が続いて五円内外高と小幅ながら続進するもの多くほとんど安いものなしの場面であった

▽高い株＝東宝十円、明菓八円、鋼器、洋鋼、昭子、三井不、ステンレス、日鉄鉱、ガス化、火工品五円

▽安い株＝東洋糖五円

川柳

新婚へ女優もうぶな顔を見せ　三鷹　是公

外出着売った記憶の柄に似る　港　瀬谷蒼美

大雅浮かれて踊る春の宵　世田谷　栗崎臥龍

爪みがき女の隙を覗いで春　港　三上とんぼ

弱そうな客タクシーのカモになり　川崎　小宮せいじ

ふらふらと東京へ来た春の風　江戸川　五迷亭

竹筒の貯金テレビへ飛く夢　千葉　金

内外抄

保守合同は世論だと問題を打出す岸幹事長、政党は世論どおり動かぬことになっとるのだが。

◇

原子力博覧会が読売紙の努力で催される。当面最大の問題を取上げた企画は近来の大ヒット。

◇

都の役人が不正事件の発覚から自殺した。太いヤツでないどころか神経が細すぎた。

◇

A級戦犯の遺骨は偽物と引取らぬ遺族、太平洋に捨てられたのなら壮大な「海葬」がよさそう。

◇

拾って届けた四百万円のダイヤも虻蜂とらずになりそうな話、欲に迷って道草を食ったばっかりに

浅草の鬼 (161)

浜本浩
栗林正幸画

マンボ・マンボ (三)

「ヤァ」

原田は、ペコリと頭をさげた。

「何処に居たんだ？」

梧郎はもう、この男に悪意を持っていなかった。新子の置手紙を読んだからだ。

「何でえ、姐御から聞いてないのかい。女房の田舎に居たさ。すると、三日前だ、姐御から電報が来てね、すぐ上京しろというんだ。飛んで来たが、姐御は居やしねえや。見ると、戸口の扉に、こんなものが貼ってあったぜ」

原田は、ポケットからハガキほどの紙片を取り出して、梧郎に渡し、マッチをすって照して見せた。

―御用の方は江東寺島六丁目大衆劇場内、旗野梧郎を訪ねて下さい、マンボー

確かに、新子の筆蹟であった。

「何かあったのかい？」

「うん、羅生があげられたよ」

「何だッて？」

「今のところ、傷害致死と、婦女誘拐だがネ」

梧郎は、事件の概要を語り、

「君の証言で、殺人の主犯てことにもなりそうだな」

この数日来、安斎部長が血眼になって、原田の行方を追究しているのだと告げた。

「ふうむ」

原田は、暫く沈思黙考して、ずばりと云った。

「よしッ。これから自首しよう。どうせ、俺は凶状持だ」

「待てよ」

梧郎は、友情をこめて原田の肩を叩いた。

「自首は、明日にしろ。今夜は僕の下宿で、ゆっくり寝てくれ。何もないが、一杯やろう」

「いゝのかい？」

「うん」

梧郎は、楽屋へ戻って、衣裳を脱いだ。

裏町の飴屋では、親切者のおかみさんが、勇敢な息子の霊前に、黙禱をさゝげていた。

「そうかい、この人かい」

おかみさんは、黒眼鏡の噂を聞いて知っていた。

「ひと風呂浴びてくるがいゝよ。その間に用意して置くから」

「へえ、済みません」

原田は、素直に頭をさげ、貫一の位牌に焼香した。

「かァさん、近所に電話はありませんか。伊東温泉へかけたいんです」

梧郎は、さっそく夏川に連絡して、河野氏の上京を促すつもりであった。

「お風呂屋の前の酒屋が、まだ起きているだろう。そうだ、あたしがついて行ってあげよう。ついでに一升買ってくるからね」

自首を決意した原田が、遠い九州の田舎まで、盲目の母親と女房に別れを告げに行ったということが、飴屋のかあさんには気に入ったらしい。

風呂から戻ると酒の用意ができている。原田は酔うと陽気になった。

「そうだよ。羅生の野郎がさ、河野さんをバラしたら十万円くれると云ったんだ。ところが君も関係したパンスケよ。マダムのお富が通りかかってね、きゃッと悲鳴をあげやがったものだ。思わず手許が狂ってさ、バラしそこねたらよ、手間賃がたった五千円だ。おまけに、そいつが梟ってね、新田殺しを引き受けた。むろん、羅生のからくりだ。こいつは、いちもんにもならなかったがね、はッはッはッ」

自首すれば、三年はくらう凶状持とも見えず、原田は屈託もなく笑った。

儲かるはずです！ この搾取 この無慈悲

或る少女の身売り事件にみる！

浪花節や芝居の筋書ばかりと考えられていた"身売り物語"が、いまでもこの社会のどこかに現存している、いや、はっきりと現存していた、デフレの嵐が暗い吹きだまりをつくるところ、そこに僅かな金にしばられて、花の人生を棒にふる哀れな人々がいる、あり得ないことであり、あってならないことである、東京都内でも大田区の一少女（一七）が芸妓置屋に売り飛ばされ、社会評論家神崎清氏がこれを取り上げて、いまもある"人肉市場"の実態を衝いた、なぜこうした"人身売買"が横行しているのか、その盲点ともなっている置屋とはどういう仕組みになっているのか…抉り抜いてみよう

神崎 清氏

5万円の"足クサリ" 連夜の恐怖、悪病に感染

神崎氏が取り上げたその少女のケースをまず辿ってみる…少女は大田区大森九丁目に住み、二年前中学を卒業した、母親は妹（一六）を生んで間もなく夫と別れて再婚し、父親（四三）は小さな下請け工場をやっていたが、不況のため生活に行き詰っていた、そこで姉妹が食堂働きなどをしていたが、その稼ぎは知れたもの、たま／＼近所の久米きくのさん（五三）が娘を港区芝宮本町二三置屋初ノ家こと塚原ハツさん（六三）方に芸者にやっているところから、その小母さんの世話で昨年十一月五万円の前借で少女は同家に住込んだ、ところが芸者見習とは名ばかり、住込んで十日目の十二月一日夜、少女はいきなり築地のさる料亭に連れ出され、そこで最初の客を取らされた、まだ花も蕾の十七歳である、少女は恐怖の一夜を泣き明かした、その後も、こうした夜が襲ってきた、身も心もない不安の毎夜であり、しかも気がついたときは悪質の病気に犯されていた、私だけが犠牲になれば…と、健気に飛び込んできた世界だったが、それでも芸者とは三味線や踊りを習って、芸だけで身を立てればいいものという夢があった、その夢は無残に吹き散らされたのである、少女は余りの恐しさに三月廿日初ノ家を逃げ出し、父親のもとへは帰らず生みの母を頼った、この事情を聞いて憤慨したのは実母の再婚先の夫米倉行夫さん（四〇）だった、久米さんと継母（三〇）が少女を連れ戻しにきたが、米倉さんは頑として渡さなかった、しかし金の問題にからんで米倉さんではどうにもわけの判らない何かゞあった、思い余って神崎氏へ投書の形で救いを求めた

名ばかりの"折半"ふえる借金 四畳半に四人同居、風呂銭まで自前

この少女が体験した置屋の生活とは、四畳半一室に、芸者が三人と女中一人が同居した、一日二食で朝昼を兼ねて十一時ごろミソ汁とご飯、午後五時ごろ一人あたり卅円程度のお菜がついた夕食、風呂はあっても使えず、銭湯に通った、最初の客のいわゆる水揚げ代は二万五千円だったが、うち五千円は客のあっせん料としてはねられ、残りは置屋と少女が折半したことになっている、その後夜十一時前の泊りが二千円、十二時過ぎが千七百円の"公定相場"となり、いずれも置屋と少女の折半の形になっているが、実際には少女の手に渡っていない、化粧代や銭湯代をふくめる小遣いをねだって漸く月に四、五千円を貰った、こうしてハッキリいえば少女はその身に代えて稼ぎまくったはずであるが、神崎氏が初ノ家で調査したところによると五万円の借金は帳消しになっているどころか、その総額は四ヵ月間で九万二千九百円になっていた、その中には父親がさらに少女には内緒で一万円借り、着物代その他の立替分も含まれている

さあ乾杯！ と嬉しそうなお座敷のお姐さんたち、この笑顔のかげに、もし悲しい鞭がかくされていたら…（但しこの写真は本篇に登場する少女とは関係ありません）

ニュースの眼

婦人議員が問題視する 芸妓置屋の実態

【写真＝中央しもたやが少女売買事件の"初ノ家"】

国会、法案化急ぐ

警視総監に徹底的調査を依頼

問題はさらに深刻化している、平林たい子女史は「芸者は売春婦であろうか、もちろん然りである」ときめつけ「赤線や青線がある程度取締られるときがいずれくるだろうけれども、そのときもし、芸者にだけ目こぼしをすれば、売春婦はみんな芸者となるだろう」と述べている、そこで、国会婦人議員団の市川房枝、戸叶里子、神近市子、山下春江、山口シヅエ、宮城タマヨ、松尾トシ子各議員は去る廿五日"少女売買事件"を売春禁止法案の見地からとりあげ、神崎氏の説明を聞いたが、その結果これは単なる"人身売買"だけではなく❶料亭が売春の場所提供とあっせんを行っている❷芸者置屋は婦女管理と売春のあっせんを行っている❸売春行為を内容とする芸者の前借金契約は無効であるとが徹底していないなどのことから、江口警視総監にたいし徹底的な取調べを要望、この問題を国会における緊急質問、あるいは各婦人団体への働きかけによって売春禁止法案の立法化促進へと成行きは進展している

人身売買は、正義感だけで根絶できるものでもない、売春禁止は法律だけで完全だろうか、そこに、この問題をめぐって、社会全体が考えなければならない「何か」が秘められているのではないだろうか

（上から）平林たい子、神近市子、戸叶里子、市川房枝の諸氏

巧妙な周旋手口 就職を焦る娘がカモ

こうした人身売買事件は、警視庁防犯課でも手古ずっている、なぜなら業者は法の抜け道を心得ており、当事者も本当のことをいわない場合が多いので真相が掴めないとくに売春にたいする認識がマヒしている最近では、周旋屋、特飲街業者の手口が巧妙になってきたため、捜査はます／＼困難になっている、警視庁防犯課の調査によると、周旋屋のねらう相手は、貧農よりも就職をあせっているものに向けられ、その方法としては、官庁、会社の名刺で信用させ、あるいはタマ（売春婦になった娘）を帰郷させて着物をみせびらかせ誘うという手段が多い、また地元の料飲業者が娘を預り、これを"送り屋"が目的地まで連れ出し、さらに待ち受けた周旋屋が業者へ渡すというリレー式に組織化されたのもみられる、なかには暗号電報まで使っているのもあるという、東京では毎夜浅草に張り込み、家出娘十八人をつぎつぎ口先きうまくつかまえ、旅館に連れ込んで暴行、地方の料亭に送って廿二万円を稼いだ周旋屋もあった

身売りと前借はつきものであるが、民法第九十条によると「公序良俗に反する契約は無効」とうたわれている、従って売春行為を内容とする前借制度はあってならないし、例え証文を書いたとしても法的には無効であるはずだが、西も東も判らない少女たちは、この証文一つでまず観念的に"どうにもならないもの"と諦めるものが多い「どんなことをされてもいゝ」という一札を少女からとり、あるいは古風な十手をつきつけて「逃げたらたゞでは済まさぬ」と脅かす業者も都内にあったようだ

料亭と置屋、玉代争奪 都議選にまで対立

裏のカラクリ 浮かばれぬ彼女たち

「いまどき芸者置屋があるんですか」と、労働基準監督署でも不思議がっている、置屋が労基法に適用されるかどうかは今後に問題が残されるとしても、置屋は現存している、終戦後勅令九号によって公娼廃止、三業分離の建前から置屋は一応姿を消したことになっていた、しかし日本独立後はまたぞろ夢よもう一度式に復活、表面は「下宿屋」の形をとってはいるが、その内容は昔の置屋といさゝかの違いもない、最近では公然と置屋を名乗ってきているようだ、しかもご法度の売春が伴った場合キワどいだけに、その搾取は言語道断のものが少くない、置屋の儲けは、いわゆる「玉代」だが、この玉代をめぐって、最近の耳新しい話題を紹介してみよう…都議選挙が近づいた本年二月、都内四十九花柳街の料飲業者は白山三業地の某氏を立てることにし、政治資金として一軒千円から二千円の醵金を割当てる話を進めた、これに対抗して置屋側も同じ白山の某氏を擁立、同様一軒三万円程度の獲得に乗り出し、ことに料飲業者対置屋の冷戦が展開された、両者とも表面上「遊興飲食税撤廃を期するため」とのスローガンをかゝげているが、その裏には、玉代の不明朗さを衝き、相手の出方によっては待合にも芸者を置こうとする料飲業者側と、そうはさせじと従来の仕来りを主張する置屋側との虚々実々の作戦がうかゞわれた

その玉代とは…赤坂、新橋、柳橋など一流地はそれほど問題になっていないようだが、二流、三流地ほど複雑な仕組みがみられる、例えば王子三業の例をみると、表向き一時間三百五十円となっているが、その内訳は▽祝儀百八十円（芸者の収入になるもので、芸者自ら十日目ごとにとりにくる）▽検番払込みの玉代八十円（同様十日目ごと）▽置屋収入卅円▽待合収入卅円（実際は検番維持費として十日目ごとにとられるとは待合側の弁）▽保健衛生費卅円となっているが、このほか建設費と称し五十円、演芸費十円、遊興飲食税百廿円をとられるから、結局客は計五百卅円ナリの玉代を支払わされる、このうち保健衛生費と演芸費、ほかに電話費と称する卅円、計七十円が玉一本についてまるまる置屋の儲けとなり、芸者収入の百八十円と八十円計二百六十円は置屋と叩き分け（折半）というから、芸者の本当の収入は微々たるもの、しかもこれを計算通り渡す置屋はほとんどなく、大抵当てがいぶちだから、彼女たちが玉代によって借金を返したり着物を買ったり…というのは、およそ気の遠くなるような話

勢い彼女たちは、枕代によって稼がざるを得ない羽目となる、その枕代も泊りで千五百円から二千円が相場だが「ご相談」というのがあって割増しとなるので大体三千円から五千円、これも置屋が一方的に決め、しかもこのご相談分は内密になっているから税金がかからない、待合側の泊り料金は七百円から、千五百円で、酒、料理、玉代、泊りを含め一夜の歓楽料六、七千円と相成る勘定、この場合芸者の収入は丸抱えの場合

玉代百卅円▽泊り七百五十円（公定相場？の半分）同一千円（ご相談分の半分）計一千八百八十円

となるが、さらに玉一本について検診料月四回四百円、茶話会費三百五十円、演芸費としてお師匠さん一人につき五百円ずつとられるから、文字通り働けど働けど、ザルで水をすくうように収入は空しくコボれ落ちるばかり、おまけに大田区の少女のケースでもみられるように、衣裳の借料、あるいは立替料というのがあり、これがクセモノであるようだ、本人の知らないうちに着物が出来ていて、これが法外な値段となって前借に繰込まれることも少くない、こうした置屋の制度も、その置屋側にいわせると「いゝえ、私の方はたゞ女の子を下宿させているだけでしてね、あれこれ指図がましいことをいうなんて、あなた―それァ商売ですから食費や間代は戴きますよ、家の者のように世話もみてやりますよ、そのほかには別になにも」ということになる、しかし、妓三人抱えれば置屋はボロい…の声は何を物語るのだろうか、また、待合側が遊興飲食税撤廃に名をかりて、玉代の是正に乗り出そうとし、果ては待合にも芸者を置こうとする傾向は、何を意味するのだろうか「人肉市場」の実態はこんなところから究明されていゝよう

モダン歳く記 天国に結ぶ恋

昭和七年五月八日、新緑にむせぶ大磯坂田山の山腹に美しい令嬢風の娘と慶応ボーイの情死屍体が発見されて大騒ぎとなった。どんな障害が二人の恋をそうさせたのか判らなかったがその良家の子女らしい品のよさはそこに集った人達の目をそばだてた。形通りの検視がすんで二人の遺骸は山下の墓地に仮埋葬されたのだが、二人の身許が判り、男は慶大生調所五郎、女はその恋人湯山八重子と判った時に、女の方の屍体だけが墓地から掘り起されてどこかへ運び去られていたのである。

あの世で一緒になろうと死んだ二人は童貞と処女だったという。その彼女が墓からひきずりだされ裸体にされて月下の砂浜に運ばれ若い痴漢にけがされたということは悲惨な運命である。彼女の屍体は浜の網置場から発見され、犯人も直ぐ逮捕された。この男は仮埋葬を手伝ったときに八重子の美しい姿に魅惑され、この屍姦という鬼畜の所業を敢えてしたのだった。前半のロマンティシズムと後半のグロテスクさは当時のジャーナリズムを賑わし「二人の恋は清かった」という流行歌はレコードで歌われ、また映画化されて全国の女性達の紅涙をしぼらせたのである。日本が日華事変に突入しない頃のことだった。（鮭）

艶流世界譚 …（スペイン）…

結婚後八ヵ月目だというのに妻のイサベラは早や臨月です。普通なら、ちょっと変だと疑るのが人情ですが、なにしろ結婚前に彼女と二、三度覚えのある夫のアルフォンゾ。イサベラいとおしさに枕辺につきっきりで看護したり励ましたり、はじめて父になる日を照れ臭い思いで待っていると、やがて陣痛のはじまったイサベラが苦しそうにうめきはじめます。噂に聞き及ぶその苦痛、どんなに切なかろうと、純情なアルフォンゾは妻の手を握りしめながら「イサベラや、頑張りなさいよ。ぼくが傍についてるんだから」と声援していましたが、あんまり苦しげな妻のウメキ声に可哀想になって、産婆がいるのも構わず、オイオイ声を出して泣き出してしまいました。すると夫の泣き声を聞いたイサベラ、苦しい息の下から途切れ途切れにいいました。「泣かなくてもいゝのよ、アルフォンゾ。わたしがこうなったのは、ちっともあなたのせいじゃないんだから」

あすの運勢 ＝五月八日＝ 高島象山

▲一月生―勇躍して物の発展し好調に至り利達あるも新規は後に凶
▲二月生―多角的のものは気迷い心動いて自ら失敗を招く慎重なれ
▲三月生―物事に困難と苦労の起り易い日柄で警戒的に慎重にせよ
▲四月生―秩序正しく整然として進めば有利有彼れ是れ思うは失敗
▲五月生―継続的の事は大過なく無事なるも新規の変化は大敗の元
▲六月生―稼業守れば無事なるも大望を抱いて失敗あるけがを注意
▲七月生―自然の成り行きに任せ他意なく進めば無事なり外出注意
▲八月生―剛愎自尊の為め信用を害し損をするなり痴情的不和注意
▲九月生―不意の出来事に驚き迷う或は業務上蹉跌を生ずる事あり
▲十月生―目標定めて一定の方針を遂行すれば苦労あるものちに吉
▲十一月生―自己の力量を過信身分不相応の望みを立て失敗有るも
▲十二月生―無理を通さんとして失敗を招く或は病気不幸不和注意

ラジオとテレビ 7日（土）

時	★NHK第1★ 590KC	★NHK第2★ 690KC	★ラジオ東京★ 950KC	★日本文化★ 1130KC	★ニッポン★ 1310KC
6	00 ❶子供のシンブン❷音楽劇「ブランコに乗った市長さん」	05 英語会話 松本亨 15 比国戦争未亡人を迎え 30 ❶端唄❷清元「文屋」	10 東西こぼれ話 小金治 15 スイート・コンサート 25 ぴよぴよ大学（河井）	00 劇「少年宮本武蔵」 10 おばあちゃんと一しょに ワカサ・ひろしほか	00 メイコのお婿さん探し 15 劇「ゴジラの逆襲」 45 映画劇「悪魔の囁き」
7	00 ニュース・天気予報 15 録音ニュース 30 お母さん二十の扉 沢田美喜 羽仁説子ほか	00 映画音楽 解説・清水光雄 希望音楽特集 30 ❶青年学級だより❷座談会「新聞のよみ方」	10 録音ニュース 20 物語「赤穂浪士」夢声 50 歌の想い出 三枝喜美子「城ケ島の雨」ほか	00 録音ニュース 10 テーマ音楽特集 30 アベツク歌合戦 トニー谷 豊文 山口瀬一郎	00 ラジオ夕刊 20 花のステージ平木康雄 30 私のヒツト・ソング 岡本敦郎 楠トシエほか
8	00 なつかしのメロディ 映画主題歌集 有愛華他 30 とんち教室 石黒敬七 玉川一郎・柳橋・北原文枝	05 きようの国会から 20 プロ野球（二元放送）阪急対毎日 土門アナ トンボ対近鉄 野瀬アナ	00 落語❶粗忽の針 円遊❷くやみ 円生 30 浪曲・次郎長伝「黒駒騒動」広沢虎造	00 素人ジヤズのど自慢 司会・丹下キヨ子ほか 30 都々逸スクール 司会・木戸並 都家かつ江他	00 飛び出す放送 トニー谷 デイツクミネ 豊吉 30 浪花節「横櫛お富」相模太郎
9	05 ニュース解説藤瀬五郎 15 劇「樹氷」永井百合子 関口玄三 山田清ほか 40 時の動き	00 ダンス・アルバム 解説・谷田部敏夫 45 明日の競馬 NHK杯レースを語る 小畑昌男	10 歌謡曲 神楽坂はん子 柳沢真一 久保幸江ほか 40 歌謡漫談「遠山の金さん」川田晴久とダイナ	00 上方漫才二題 光晴・夢若 笑子・小円 30 劇「この世の花」真木恭介 丹阿彌谷津子ほか	00 リレー劇「太郎行くところ」司葉子 大川太郎 30 劇「噫その人を」丹阿彌谷津子 森雅之ほか
10	15 今週のニュース特集 40 幸福を拾った話 市村俊幸 宮城まり子ほか	00 ❶初級世界史 中村英勝❷上級英語 梶木隆一 45 気象通報	05 きようのニュースから 15 人気論 大宅壮一ほか 30 劇「家のおばあちゃん」	00 大学受験春期基礎講座 英文法 黒田巍 30 国語（古文）小西甚一	00 歌謡曲 三橋美智也 吉岡妙子 若原一郎ほか 35 スポーツ・カレンダー
11	10 NHKだより 20 五月の凧揚げ 前田晃	00 録音構成「児童雑誌」重松敬一 吉沢嘉美ほか	10 週末夜話「ラジオスケツチ千回をかえりみて」	00 DXニュース 福士実 20 政局鼎談 三木武吉他	15 私と映画 飯島正 40 オートバイ教室

テレビ
★NHK★ ◆6・00 親子クイズ◆6・30 今晩はメイコです◆7・10 週間ニュース◆7・30 大阪球場から「南海」対「西鉄」小宮アナ【野球のない場合】映画「世紀の祭典」（ヘルシンキ・オリンピツク大会記録）
★NTV★ ◆6・00 童謡映画◆6・10 動物芸くらべ◆6・30 素人のど競べ◆7・30 なんでもやりまシヨウ◆8・00 映画「若い恋人たち」ダイジエスト◆8・30 デイオールのAライン◆9・00 武士とサイコロ
★KR★ ◆6・00 短編映画◆6・25 歌謡曲シヨウ◆7・00 短編映画◆7・30 大黒様のおでまし◆8・00 ルポ「五月に生きる子ら」◆8・15 ダンスへの誘い◆8・30 短編映画◆9・10 劇「日真名氏飛び出す」

あすの番組

NHK第1	NHK第2	ラジオ東京	日本文化	ニッポン
8・05 現代管弦楽名曲集 9・30 コーラス・アルバム 10・15 アンデルセン童話集 11・00 音楽物語「パリのアメリカ人」東京フイル他 12・25 講談「親鸞」馬琴	8・00 宗教の時間岩本徳一 9・00 私と読書 石川欣一 9・30 ラジオ音楽雑誌 10・00 囲碁将棋の時間 11・00 立体音楽堂 11・25 謡曲「杜若」十寄雄	8・20 越路おしやべり手帳 9・10 ちえのわクラブ 10・30 アルジエリア組曲他 11・05 ミユジツクアルバム 12・10 素人うた合戦 1・35 漫才 千太・万吉	8・25 みんなのメロデイ 10・45 スターは待つている 11・00 陽気な一家◇軽音楽 12・00 落語討論会 柳昇他 12・30 神宮野球場から慶大対立大 解説・伊丹安宏	7・15 古代文化の光三笠宮 8・30 財界放談伊藤吉次郎 9・15 日曜随想 高橋豊子 10・00 仲よし音楽会 11・00 ワチニンコ物語 12・00 職場対抗ノド自慢

浪人街道（149） 木村荘十 野口昂明 画

春情（五）

「むやみに人を斬るのも好ましくなかったので、そのまま見逃してしまったが、金助がどうかしたのかな」

「どうかしたのかじゃァありませんぜ。あっしはあれからずっと奴の後を追っかけ廻しているんですが、どうやら若旦那を殺したのも、あいつらの筋書じゃァないかと思いましてね」

「いや、筋書を書いたのは、やはりお艶だろう。金助の話では、短銃でうたれていた男、そいつが周馬を背後から刺したらしい」

佐吉は、啓之助から金助の語ったその晩の様子をきくと、眼を据えて考え込んだ。

「するとなんですかい、金助は、金を運ぶ役をさせられたきりで、お艶に一杯食った訳ですね…それから、お艶も金助も、まだ、三次の金のかくし場所を知らずに、それを狙っている」

「まァそういうことだな」

啓之助は金のことには一向興味のない顔をして答えた。

「では、そのかくし場所は、三次と、殺された若旦那の周馬様だけが知っていた訳で…」

「そう。そんな話だ」

「周馬様はどうしてそれを御存じだったのかなァ」

「俺の考えでは、周馬がそれを知ったので三次と争いになり…あるいは捕縛しようとしたかも知れぬが…そして三次を周馬が殺し」

「なるほど、それを知ってまたお艶が周馬を殺し…ふうむ、大分話が入り込んでいますね」

「そして、お艶の一味と、金助が今もなお、山内のお霊屋のあたりのかくし場所をさがしているのだ」

「すると、こりゃァ啓之助さん、かくしてあるのは、金だけじゃァありませんぜ」

「だが、それと俺と何の関係があるんだろうな。そのために俺を殺す必要は少しもない」

「そうですが…それは、周馬様と啓之助さんの間柄を、誰か知っている者があって…」

「ふむ。しかし、それにしてもわからない」

話しているところへ、佐久綾が、例の男装で訪ねて来た。

「おお、お嬢様、どうなさいました。また、そんなお姿でお出かけになったら、お叱りをうけますよ…第一、また[illegible]の奴めがお嬢様を[illegible]そのかしたなんて言われるんです…[illegible]ましたなァ」

「大丈夫。これ、問物屋の仁助の[illegible]預けておいて着替えて来たんだから、[illegible]も知りゃァし[illegible]よ」

「でも、今度、み[illegible]かったら、佐吉は[illegible]れですぜ」

佐吉は自分の[illegible]斬る真似をした。

「でも、大きな[illegible]を立てれば、首[illegible]ろか、売出せるでしょう、佐吉[illegible]ぼんやりしてちゃァ駄目じゃ[illegible]か…この頃、毎晩のように、山[illegible]のお霊屋に怪しい者が来るとい[illegible]話だよ」

「そ、それを今、啓之助さんか[illegible]も伺いましてね」

「今夜あすこへ網を張って見[illegible]…啓之助さんにも手伝って頂[illegible]…ねエ。いけません？」

綾は、哀願するような眼をし[illegible]啓之助の顔をのぞき込んだが、[illegible]の美しい眼には、何かを訴える[illegible]ましいものがあった。

渡辺勤労部長逮捕

自責から？ 課長代理飛込み自殺

保健所汚職

[illegible] 時都総務局勤労部長兼同保険 [illegible] なおこの事件に深い関係あ [illegible] の様相を呈した

所持品もポケットに手帳と定期入れを持っていただけで原因ははっきりしないが、摘発中の福利課の汚職事件についてなにか責任を感じていた ものとみて 同所では、七日朝妻照子さん(四〇)と、昨夜八時ごろ新宿駅西口の飲み屋「鳥竹」方で渡辺氏と一緒に酒をのんだ同課勤務北住朱房氏など関係者を呼んで事情を聴いている

◇北住氏談＝「夕べ八時半ごろ新宿駅西口で渡辺さんと別れたが飲みながら〝こんどの問題は困ったものだ〟と洩らしていたがまさか死ぬとは 思われなかった」

◇照子さんの話「昨夜九時ごろ酔って帰宅しました、すぐ寝床に入りましたがすぐ起き出してちょっと外出するといって九時四十分ごろ、茶背広上下、白ワイシャツノーネクタイで家を出ましたが、煙草でも買いに行くのだと思って別に気にもとめませんでした、死ぬなんてことは全く考えていませんでした」

なお自宅には長男俊夫君(一八)次男公夫君(一三)＝新宿区立淀橋中二年＝長女みや子ちゃん(六つ)の二男一女がいる

お客、初めは逃げ腰

秩父、高松宮妃が街頭募金

◇…白い羽根募金が始まって六日目の きょう七日朝十時 から秩父、高松両宮妃殿下が東京駅八重洲口大丸デパート前で街頭募金に立たれた、これは女子学習院の同級生からなる常磐会の会員として参加されたもので、同会では十時半まで同所に、十時半から十一時まで銀座松屋で募金した

◇…三笠宮妃も参加の予定だったが都合で欠席、シルバーグレイの地味なスーツに包まれた秩父宮妃殿下が車から降りるとどっと人垣を作って映画スター顔負けのてい、しばらくはだれも醵金する者はいなかったが、中年の紳士が勇を鼓して？進み出たのを皮切りに学生、女事務員、会社員や買物の奥さんなど次々に羽根をつけてもらった、両妃殿下はそのたびに「ありがとうございます」と微笑まれるので、中には連れに「俺が羽根をつけてもらっているところをこのカメラで撮してくれ」という強心臓も出現する始末

◇…高松宮妃が可愛い手で醵金する子供の胸にしゃがまれて白い羽根をつけられるころは観衆の顔にも明るい微笑が浮んでいた【写真は大丸前で募金に立たれる秩父宮妃殿下(左)と高松宮妃殿下(右)】

第2回 自動車ショウ

きょうから日比谷で

[illegible] 入場者があったが、今年は百万人入場者が予想されている なお九日には自動車の集い（日比谷公会堂）を催し、十六日に自動車技術講演会（日比谷公会堂）十七日模型自動車の実演（日本橋三越）など各種の催しが予定されている

タイ国黄変米を近く配給

厚生省…「つきなおせば無害」

[illegible]

お祝いの柏もちに中毒か

坊や一人死亡、一人重体

六日午後四時ごろ中野区栄町通り五「人世道場」講師、宗教家新信こと金顕祐さん(四八)の次男玄ちゃん(六つ)＝神明小学校一年＝と三男宏ちゃん(五つ)の二人が腹が痛いといいだし、下痢をはじめた、近くの医者で注射を射ったの七日午前一時ごろ二人を淀橋病院に収容したが、玄ちゃんは同八時十分ごろ死亡、栄ちゃんは重体、中野保健所で原因を調べている

母親の貞子さん(三九)は六日午前から子供が寒気がするというので寝かせたが五日近所の菓子屋で買った柏餅と叔母の松平光子さん(三三)が国電新宿駅西口マーケットで買った柏餅を六日朝食べさせたといっているので柏餅の食中毒ではないかとみられる なお一緒に食べた長男の稔君(一二)＝神明小五年＝は無事だった

トウキョウ 酒・肴・女 ETC…

O・Eスタイル

④ ○…「M＋W」ナンテ男か女かわからないのが流行っているが、そんなのは既に陳腐だそうだ、現今は「O＋E」時代だそうである、つまり、オリエンタル（東洋）とヨーロッパ（欧州）をミックスした奴で、これは男にも女にも通用できるそうである、そこに着眼したのが、この（写真）純喫茶＝新宿大映横通りB＝ご嬢の服装は上半身がちゃら風であるがオッパイから下の帯がまず日本式、それに中国服を真似て脇に（襠）に切れ目があり、チラリッと悩ましい肌がのぞかれる仕組ー、ずーっと下って足はハイヒール、或はサンダル式もあり、文字通り「O＋E」の混合である

○…そこでこのスタイルを産みだした東京家政出身とかいうマダムの弁をきこう

「コーヒーの味ばかりではダメでザーマスのよ、お酒の席でもそうザーますが、喫茶でもやっぱり女の子の服装がコーヒーの味に溶け込むのでザーましょうこんな服装を発案しましたところお客さまの顔がニコヤカでざーますのよ…」

と「O＋E」の有難さを懇々と説くのであった、ーこゝのファンには二本柳寛とか辰巳柳太郎などがあり、もと海軍の主計だったオヤジがコーヒー沸し専門「O・Eのミックスもいゝが、不沈の母艦にはナヤまされるよー」とわかったような、判らぬ言葉を洩らしてご座った

（えと文・池田寿夫）

友人を連出し刺す

渋谷 無心断られた腹イセ

渋谷署では六日夜渋谷区大和田町一二飲食店店員岡田静夫(二一)を傷害容疑で検挙した、調べでは岡田は同日午後二時ごろ友人の同番地同山森正史さん(二一)に金を借りにいったが断わられた腹いせに山森さんを同区並木町三三先路上に連れ出しいきなり出刃包丁で後から右脇腹と左ひざに斬りつけ全治三週間の傷を負わせて逃走していたもの

インネンつけて殴る

七日午前四時ごろ台東区浅草清川町三の五玉姫公園横路上で酒を飲んで帰宅途上の港区芝新橋二の八レストラン店員川端精二さん(一九)同水元圭吾さん(一三)、同桑原憲さん(三一)の三人は通りかゝったいずれも廿六、七歳五尺四、五寸一見不良風の三人組にいんねんをつけられ上衣と腕時計一個をとられた上それぞれ顔面に全治一週間の裂傷をうけたと浅草署に届出た

"患者殺し"の東大"教授"

衛生兵あがり化けの皮

京橋署では間違った治療で患者を殺した衛生兵上りのニセ医師葛飾区青戸町四の八二四曙荘アパート内無職北条秋男(四九)を七日医師法違反で送検した

調べによれば北条はかつて衛生兵下士官としてマッサージ、接骨などを やっていた ことを利用、兵隊当時知合いの富士紡績診療所の看護婦某女(三三)＝逃走中＝と共謀、廿七年暮ごろから台東区浅草日本堤四の八の自宅で腹痛、頭痛などの治療をして成功したのに味をしめ、東京大学付属小石川分院第三研究所主任教授といつわり、往診して心臓病、小児マヒなどの治療もはじめデタラメの注射や投薬を行っていた

さる一月下旬ごろ心臓が悪くて訪れた中央区京橋一の一五須藤一郎さん(五〇)＝仮名＝に三月初旬ごろまで一ヵ月にわたり往診治療をしたが、須藤さんは回復がはかばかしくないので聖路加病院の診察をうけたところ「いままでの心臓病に関係のないデタラメの注射のため病状が悪化、すでに手遅れだ」とサジをなげられ即日入院したが四月八日死亡した、北条は須藤さんから九万円にのぼる暴利をむさぼったほか多額の治療費をとっており、付近では東大のエライ先生という評判だった、同署では業務上過失傷害致死の疑いで調べている

ふし穴

××××出産費用に"姙婦の尿"××××

△今回は、いささか世帯じみた話ー「都の衛生局の者だ」などとウソをいって、勝手に便所に消毒薬？をまき、法外な料金を請求する悪質消毒屋がハンランしているので、警視庁ではきのう管下各署に"消毒の押売り"一掃を指令した、モグリ業者は千円前後をふんだくるのもあるが、モグリでないのも悪質なのがあるから始末が悪い、料金はタッタ二、三十円のことなのだが、無断で便所に何やらをまき「消毒したから金をくれ」といい、勝手にやったんだから出せないと断れば、コワイ顔をしてインネンをつける、女一人の留守居ではツイ金を出してしまう、山の神のヒスの原因なりこんな"タカリ消毒屋"がレッキとした都の認可業者の中にもあるから恐れ入る、認可といっても、ただ、消毒屋をやりますからーと届出れば都のマークの鑑札を貰えると いった 簡単さで、都でも「消毒はやらないよりも、やったほうがいいので」許可しているのだそうだが、では消毒屋は必要なことかと反問すると「いや、保健上必要な程度の消毒は保健所でやっています から…」という、あったりまえでしょう、ダテに都民税を払ってるんじゃねえや

△悪質なのは消毒屋に限ったことじゃない、いわゆる押売りにもひどいのがあり、押売りが強盗に居直ったのさえあった、コワイのは こういった 合法的に住居に入れる行商だ、商売だから当局としても住居に入るのを止めるワケにもゆくまい、行商のほかに電気のメートル調べなんてのもある、若いメートル調べが入ってきて、幼児に添寝している奥さんにミダラなことを話しかけ「うっかりしてたら何をされるかわからなかった」なんてこともあるのだから油断もスキもあったもんじゃない、消毒屋ともども"合法的に住居に入れる連中"にご用心、ご用心ー

△ビロウな話のついでに、やはりトイレットに関係のあることと、ホルモン製薬会社で姙婦の尿を一日五十円で買っているところがある、月に千五百円だが、四ヵ月ぐらいまでだから、姙娠二ヵ月で気がついて売り始めても正味二ヵ月間三千円がトコの稼ぎ、庶民には出産費用にもなろう、産婆さんの仲介で、用器も貸してくれるそうです

（黄）

金槌で殴られ格闘

気丈な運転手、賊を捕う

七日午前二時ごろ中野区小滝町二一関東タクシー小久保太郎運転手(三八)は新宿駅西口付近から乗せた若い男に新宿区西大久保四の一七〇先暗がりで停車を命ぜられいきなり金槌で後頭部を殴られた、気丈な小久保さんは逆に賊に組みつき金槌を奪い車内で格闘となり、騒ぎを聞いてかけつけた駐留軍大久保射撃所の警備員御子柴幸雄さん(三八)が協力賊を捕え淀橋署西大久保三丁目交番につき出した

調べでは新宿区高田南町三の七五五無職加藤良雄(二一)で遊興費ほしさからと自供した

朝潮、小結に返咲く

夏場所新番付

夏場所大相撲は十五日初日で向う十五日間浅草の蔵前国技館で行われるが、恒例の新番付は七日朝相撲協会から次のとおり発表された

◇首脳陣に大内山が一枚加わって二場所つゞいた大関一名欠の変則番付が平常に戻った、これも無理にこしらえた大関でなく、生れるべくして生れた立派な大関だからすこしも不自然ではない、両関脇は松登（十一勝四敗）が西の張出しから東へ進み、若ノ花（十勝四敗一引分）は西に居座りとなった、東前頭 筆頭の 朝潮（十勝五敗）が三場所ぶりで三役にカムバック東の小結に上り、西小結信夫山（八勝七敗）は据置きで大体予想どおりである

◇東方筆頭は先場所初の技能賞をとった琴ヶ浜、新鋭鶴ヶ嶺が二枚目に躍進、ベテラン羽島山、新進若前田、老巧若葉山とつゞき、西方はトップが時津山、進境目覚しい新人安念山がこれにつゞいて、小結から落ちた大起、玉ノ海の順となり、元気者島錦が五枚目に上ったのが注目される

◇先場所新入幕早々十一勝四敗で初の敢闘賞を貰った若ノ海が西十七枚目から東十一枚目に上り、西十両三枚目で全勝優勝した栃光は一躍東十三枚目にはね上ったので、両者の競り合いが面白い、新入幕は栃光のほか芳野嶺と星甲の二人、再入幕は白竜山一人である幕内からの陥落組は秀湊と吉井山の二人、廃業力士は愛知山、小坂川以下廿三名

なお先場所西序二段五十四枚目で八勝無敗の岡田（出羽海）が三段目六十五枚目に一気に八十枚とび上ったのが出世頭である

大関に昇進新番付を見る大内山関

夏場所新番付

東		西
千代ノ山	綱	栃錦
鏡里	横	吉葉山
大内山	大関	三根山
松登	関脇	若ノ花
朝潮	小結	信夫山
琴ヶ浜	前頭筆頭	時津山
鶴ヶ嶺	同	安念山
羽島山	同	大起
若前田	同	玉ノ海
若葉山	同	島錦
出羽錦	同	宮錦
若ノ海	同	双ツ龍
成山	同	清水川
北ノ洋	同	泉洋
鳴門海	同	琴錦
若瀬川	同	芳野嶺
大晃	同	常ノ花
栃光	同	神風
大天竜	同	平鹿川
清水川	同	若瀬川
国登	同	黒獅子
星甲	同	戸田
広川	同	國山
桜国	同	白龍
白山	同	川

豊島の自動車強盗

七日午前二時半ごろ新宿区百人町三の三九〇コンドルタクシー運転手桜井茂夫さん(二八)は新宿駅西口で乗せた廿五、六歳の男に豊島区要町一の一九五面影橋先にさしかかるといきなり首をしめられ「金を出せ」と脅されたが桜井さんが騒いだため料金を踏倒して逃走したと目白署に届出た

山手の名士宅荒し

荻窪署では六日夜住所不定無職森田明(三九)を窃盗容疑で検挙した、調べでは森田は本年一月来府中刑務所を出所後金に困って名士宅専門の空巣を思い立ち、去月四日夜七時ごろ世田谷区北沢二の三一最高裁判事小谷勝重氏(六四)方から家人が夕食中衣類廿二点約十万円相当を盗んだのをはじめ、都内山手の著名人宅を荒し、自小路公共氏(七二)方で衣類十一点約十万円相当を盗むなど供したただけでも四十数件約三百万円を稼ぎ遊興費に使っていたもの

圧延機に挟まれ即死

七日午前十時ごろ江東区白河町二の一五紀長伸鋼工業所工員豊岡秀雄さん(三五)＝葛飾区青戸一の一〇八＝は作業中あやまって圧延機にはさまれ即死した

独眼灯

○…七日朝四時ごろ川崎市中幸町二の一八飲食店女中田崎真理子さん（三一）が「下目黒四の一〇一五先の暗がりで金をとられた上、五、六人の男に乱暴された」と目黒署に届出た

○…同署ではスリ強盗、強姦事件とみて緊急警戒を行った、ところがどうも彼女の申立てがあいまい、根掘り葉掘り追及すると「実は私は身体も売ってるんです、ゆうべ店にきた五人連れの客の中にハンサム青年が いたの で契約して、一緒に帰ろうとハンドバックを預けたら、連れの男たちに路上でいやらしいことをされたので逃げたんです」とニヤく

○…すぐ警戒を解除したが、ハンドバッグは彼女が預けたのだから「強盗」にはならず、彼女のいうハンサム青年をさがしている

あすのスポーツ

△プロ野球 大映対東映（一時、駒澤）巨人対阪神ダブルヘッダー（一時、後楽園）国鉄対広島ダブルヘッダー（五時、川崎）△野球 六大学リーグ立慶、法東（零時半、神宮）△関東陸上選手権大会（十時、武蔵野）△ボート 早慶対抗レース（午後四時、永代橋ー大倉別邸前六千米）△ヨット 早慶対抗（九時半、横浜新山下沖）△日濠国際自転車競技（一時、小田原）△軟式野球 六大学リーグ（九時半、新宿東京生命）△関東学生庭球トーナメント（正午、立大）△卓球 関東学生リーグ（九時半、早大）△レスリング 関東学生リーグ（一時、青山レスリング会館）△バレー 東京六大学新人戦（十時、田園コロシアム）関東大学女子リーグ（十時、お茶の水女大）△競馬 東京

東京競馬五日目成績（晴馬場良）

◇第一サ五歳以上制限（千六百）❶ヒシマサ（小野）1分38秒4 ❷ガイセンモン五馬身❸ベル頭（単）23円（複）13円110円（連）❶ー❺350円

◇第二サ四歳（千八百）❶ヨシフサ（渡辺正）1分53秒2 ❷ケンチカラ一馬身1/2❸タカハギ一馬身1/4（単）140円（複）100円 100円（連）④ー❶170円

◇第三サ障（二千七百）❶インデアンオー（島谷部）3分05秒1 ❷アサゴー5馬身❸ハチトモ（単）120円（複）110円 140円（連）❺ー❷250円

花月園競輪五日目成績

◇第一A（千六百）❶黒川浦2分2J秒0 ❷寺田義一輪❸島田政（単）73円（複）110円170円 110円（連）❹ー❶316円

◇第二A（千六百）❶長谷川2分13秒2 ❷中田1 1/2車❸竹島昭（単）210円（複）230円190円（連）❻ー❺520円

続 情炎の千代田城 (109)

岩崎栄　寺本忠雄画

敵味方（三）

[illegible]

並ンで歩く。

「いや、おそれ入った。そこもとは……」

「フ、、、」

「なにがおかしい」

「新屋さんがソコモトだなんてーホ、、、」

「負けた！」

半兵衛は、すでに草履を脱ぎすてている。パッ——砂を蹴って、風を切って、矢玉のように駈け出した。必死の逃走なのだ。恐怖のかたまりと化している。一生に、こんなこわい相手を経験したことがない。腕に格段の差がありながら、いのちがけに逃げねばならぬ不面目。

しかし、なんといっても女の足だ。それに裾を長く女の服装——こっちは尻ッぱしょりの空っ脛。いくらなんでも逃げのびてみせる。

ホッとして、いまさらにワクワクと噴き出すような汗だった。さて、もはや擬装の新炭商も弊履の如く捨てた。あの店へなど、うかつに帰れもせず、また帰る必要もなかった。護持院！

半兵衛は身を起し、護持院の方角にスタスタと急ぎ出した。護持院は一味の策源地である。その護持院の、正門や裏門などからは入らない。本郷台に近い山側の、森林のように樹木の覆いかぶさったあたりに来て、牢獄のように高く取り巡らした練り塀に沿ってすこし行くと、目じるしか何かあるらしい一ヵ所を、ドスンと押した。

そこは見せかけは練り塀だが、畳一枚ばかりのところが、扉になっていて、ギイッと鳴りながら内側に開いた。そこからすッと消えて入って、また、ギイッ、ドスン！と元のとおりに扉をしめた。

新劇界 目だつ小説畑からの進出

ふるわぬ戦前派

代って新人の戯曲を続々上演

[illegible]「只ほど高いものはない」安部公房作「どれい狩り」新藤兼人作「女の声」と何れも戦後、それもごく最近専門の小説あるいはシナリオ畑から劇作界に乗り出したばかりという新人の作品である、このほかにも炎座が武田泰淳の処女作（戯曲としての）「光ごけ」を上演し、椎名麟三作品も青年座二本、同人会一本と計三本がわずか半年間に上演されているといった具合だ、それにひきかえ戦前からの劇作家は技巧的には優れており、とき折思い出したように力作を上演するが時代感覚にズレがあったりして甚だ不振の状態である、そんなこんなで「今や新劇界では新旧作家の交替期に入った」という説をなすものもかなり多いので各方面の意見を叩いてみると—

武田泰淳氏　椎名麟三氏　安部公房氏　内村直也氏

文学座が六月アトリエ公演で行うモノローグ劇には中村真一郎、神西清の二人が新たに劇作陣に加わる予定だが、さらに戦後作家として「暗い絵」「青年の環」「真空地帯」などの小説を発表している野間宏、また同じく「桜島」「日の果て」「ルネタの市民兵」などの優れた戦争文学を書いている梅崎春生も遠からず戯曲を発表するだろうといわれている状況だ

一体これら小説家たちが何故劇作に強い関心を示し始めたかという点について、文芸評論家の亀井勝一郎氏は「第一に小説の行詰りということが挙げられるでしょうね」といっている、また千田是也も「ぼくはあんまり小説は読まないのでよくわからないが、この間三島由紀夫君なんかと座談会をやったときに、彼が、戦後の作家は混乱した社会の異常さの中に素材を求めて戦前にない文学を創り出したが最近では世の中もだんだん安定して来てそういう材料に乏しくなったので、戯曲という新しい世界を開拓し始めたんじゃないかといってましたが、まあそういうこともあるでしょうね」といい、ほかの理由として亀井氏は「演劇というものは眼と耳から直接にうったえられること、つまり思想を立体化することができるといった点なども大きな魅力なんでしょうな、大体戦後作家は評論も書くし、シナリオも手がけ巾の広いことが特徴の一つなので、戯曲を書くというのも極めて自然に考えられることですよ、たま〳〵創作劇の貧困ということがいわれ、劇団の方でも歓迎してくれるから"俺も一つぜひ"ということになるんでしょう」といっている

劇作にはりきる椎名麟三、安部公房

たとえば椎名麟三などは五所平之助監督と組んで「煙突の見える場所」「愛と死の谷間」「鶏はふたゝび鳴く」と三本も自作を映画化しているが、成功したのは最初の一本だけで最近ではどこの映画会社でも「椎名・五所作品、ヒャア、ブル〳〵、あゝいう赤字コンビはお断りだ」とスカンを食っているが、映画の観客と新劇とは自ら違い、また一公演の仕込み費と映画一本の製作費は天地の差があって、同じ椎名作品でも「愛と死の谷間」が日活で一億円の巨費を投じたのに比べ、青年座が昨年秋「第三の証言」を上演した仕込み費は七十万円だったから百四十分の一ということになる、しかも先だって同人会が上演した椎名の「自由の彼方へ」など、一部では面白くないといわれながら、従来の演劇とは一風変った味が買われたか、客の入りがよくトントン位の成績を上げているので、気をよくした彼はこんどます〳〵劇作に力を入れ、次回作では演出も自らやりたいと意気込んでいるようだ

また安部公房にしても劇団青俳が先だって第二回公演でとり上げた「制服」は死人たちを主役にした着想の面白味の点で近来の佳作といわれ、俳優座でも来月「どれい狩り」を千田是也演出で上演し、青俳では七月、また別の安部作品を上演予定で、目下彼は旅館に罐詰めで執筆中だ、青年座でも秋には彼の戯曲をとりあげるはずで、一躍劇作界の流行児になりつつある状態だ

一部では早くも"第一線交替期"の声も

こうした新進劇作家の活躍ぶりに比べて、戦前からの作家たちはどうかといえば、昨年「教育」とい

ちいだ、久保栄は病気療養中だし、真船豊、和田勝一、久板栄二郎などゝ一年ほどに上演された「赤いラムプ」「大和の村」「赤いカ

東恵美子　千田是也　飯沢匡氏　亀井勝一郎氏

ラクリーン・ヒットを放って戯曲賞を貰った田中千禾夫と軽妙な風刺劇で才人ぶりを見せた「二号」の飯沢匡がわずかに迎えられたく

ーディガン」など何れも力作、労作だったが結果は不評に終り、四年前に「炎の人」の佳作を出した三好十郎など、近ごろは専ら随筆家、社会評論家といった格好である、そこで「もはや戦前作家の時代は去った」という声が出て来るのも無理はないともいえよう

演劇評論家の尾崎宏次氏は「小説家が戯曲を書き出したのはたしかに喜ぶべきことですが、しかし椎名さん、安部さんなどの書いてる観念劇は今日の社会の歪みや狂った面は鋭く捕えることができても将来の方向はどうですかね、[illegible]やスタイルの新鮮さだけではいつかはまた行詰りを来すんじゃないですか、それにしても既成作家陣がふるわない以上、交替期だという見方もできるでしょうね」といい、遠藤慎吾氏も同じような見方をしているが「たゞ、安部、椎名などの書いたものは読むと面白いが、いざ上演してみるとそれほど新鮮でもなく、戯曲としての統一が見られないといった点がありますね、あゝいうものはなまじ演出に凝るよりナマのまゝで失敗を重ねてみた方が却って作家にとってプラスになるのではないか」という問題を出している

「まだまだ年期が必要」と演出家は批評

これに対して千田是也は「ぼくはべつに戦後作家がこゝんとこへ来てパリパリ戯曲を書き始めたからといって、第一線を交替したといったほどのことはないと思いますね、何分戦前の作家は新劇に必要な技術を身につけているが、安部さんとか椎名さんとかはいわばまだ素人ですからね、最近書き出した人が一人前の技巧を身につけた劇作家になるにはまだまだ永い年期が要りますよ」と控え目な評価を下しており、亀井勝一郎氏も大衆性の点で同様な疑問を投げかけている、また先日「自由の彼方で」に出演した同人会の天本英世は「ぼくとしてはこんどの芝居は成功したとは思ってないんですよ、椎名さんの狙った意図とは全然違ったところでお客が笑っているんでしょう、それでも椎名さんは喜んで満足して、この次は自分で演出するよなんていってるんですよ、ぼくのセリフもしゃべり難くてね、とってつけたような言葉だし…、こういう芝居がうけてこんども上演されるってことを何か肯定できない気持なんですが…」といっている

しかしこれを観客として見た青年座の東恵美子は「"自由の彼方で"は面白かったわ、とにかく椎名さん、三島さんなんかの新しい作品をやって行くことには開拓する楽しみがあるものね」と反対の印象を語っている

当の戦後作家の一人安部公房は「ぼくらが戯曲を書き出し、ほかの人もどん〳〵書くようになって始めて、劇文学も正常な発展をして行くというわけじゃないですか」といゝ、戦前の作家の一人内村直也は「交替期というよりも、小説から来た人、戦後の優れた若い専門劇作家たち、それにぼくら戦前派も立直っているところですし、まあいろんな劇作家が出揃ったというべきで、その結果たまには翻訳劇でもやろうかというほどの創作劇ブームが起れば大変結構じゃないですか」と語っている

土曜サロン　ある手紙

中村メイコ

空が、やたらに青すぎる。その青い空の下で、自分も青くそまりながらつっ立ってると、気違いになりそうだ…。それでいて、とっても淡くてうすい青なんだね、この頃の青さって…。こんなにもろい…、はかない色が、人間をこうまでキタナラシク見せる力を持ってるなんてシャクだ。

—へへへ、こんなこと書くと、新聞記者などというイヤァな商売を持つアナタは、さぞかし「キザだ—」って笑うんだろうな…。アナタだけじゃないよ。メイコのまわりにいる人のほとんどが、きっと「メイコって奴はあんがいキザなんだね、つまらねエ」っていうにきまってらあ、メイコが真面目な顔して「この頃の空は青すぎるワ…」なんてつぶやいたら…。

メイコなんて奴は「あら五月なんてあったかしら…まして青い空なんてこの世の中にあったかしら…」とかなんとかいゝながら五、六冊の台本を手に、毎日サツジン的に忙がしくスタジオからスタジオをとび歩いてりゃ、それがアタリマエだと思うんだ、人は。だけどそんなの本人にとっちゃ、それこそやりきれない…美しい五月ともなれば、ますます忙がしく…なんて、哀しすぎらあ。そして人は、その〝哀しすぎる人間〟だと思ってるらしい、メイコのことを。

オアイニクサマです。あたくし、悲劇のヒロイン的な顔してないから、当然悲劇のヒロインはつとめませんっと。そりゃあ忙がしいことは忙がしいさ…だけど、人が勝手につくり上げた〝スケジュールに追われるメイコ〟ほどじゃない。〝あたらハタチの青春を…〟どころか、これでけっこう楽しんだりタメイキついたりしてんだ、青春をネ。てきとうに街をほっつき歩いたり、ラヴ・レターを書いたりしてるヨ。そしてメイコの理想は、よきオクサンになることなんだ。どうだい、おどろいた？ メイコはね、女の人である以上、いくら仕事ぶりがリッパでも、恋人も ダンナサマも いないカサカサした女性になるのは嫌だもん。せいぜいママにお料理でもおそわって、そのうちオヨメサンになっちまおうと思ってんだ。

—そりゃあさ、いい仕事をしたいよ。もっともっと勉強したい。そして、やってみるよ、メイコ。いい女優サンになりたいさ。もちろん仕事には情熱的だし一生懸命だよ。だけどこっそり街をふらつきゃ「サインして下さい」空を見上げてキレイだといやあ「メイコちゃんでもそんなことを感じますかねえ」こないだ一人で家中のゴハンの支度をやってみたっていえば「そんなヒマがあるんですか—」いい結婚をしたいっていうと「あなたらしくもない」といったような… すべてメイコを〝特別アツカイ〟する人たちのことを思うと、つい、ことさら自分にはヒマがあるようにいいたくなっちゃうんだ。これ、レジスタンスとかってヤツだな…。

—手紙をくれなんていうからには、アナタもつめたい新聞記者だもん、コレを発表する気だろうな。いいよ、だからわざとノンキなこと書いたんだ。メイコはどうやら恋人がいるらしい…ぐらいのゴシップにされるのはカクゴの上だ。いやんなっちゃうネ、まったく。サヨナラ。

メイコ

【写真は諏訪湖でボート遊びを楽しんでいるメイコ】

新人山脈

杉嘉純（ショウ）

ヨシズミと読む、ついこの間の「春のおどり」で日劇ダンシングチームの一員として初舞台を踏んだばかりだが、研究所で勉強中はその素直な素質を先生方に大いに認められていた、昭和九年六月廿七日中野で生れ小学生時代は大阪で過したこともある、姉が旭輝子という関係で、幼時から舞台や楽屋に接近する機会が多く、遂に同じ道を歩むことになった、本人はまだ無我夢中で踊っているそうだが、どこまでのびるかは今後の年期が解答を与えてくれることだろう、ワリにシンの強い粘り強さを持つ性格に、あえて期待する所以である、現住所＝港区赤坂一ツ木町四三

スターのいる町　蒲田界隈

残るわびしい思い出

"サイレント時代"と共に消えた華やかさ

「蒲田には松竹の撮影所があった、だからその頃は文字通りこの界隈は"スターのいる街"だったし、蒲田駅に降りれば必ずスターらしき人々に逢えたのだ

田中絹代ちゃんが可愛い桃割れで歩く、笠智衆がいかにも大部屋さんらしい下駄ばきで階段を降りてくる、などという風景がいたるところに見られた、そしてこれが一番華やかだったのが昭和五年ごろだ、そこでこゝろみにその頃の話題を土地の古老にきいてみると「まず島津保二郎、牛原虚彦両監督ね、それから長井信一カメラマン、死んじゃった河村黎吉に坂本武、坪内美子、若いところで高峰秀子、三谷幸子に突貫小僧なんてね、もっともこの三人はまだ子供だったし今では坂本武が住んでいるだけだよ」という

田中絹代

その牛原虚彦監督が蒲田は蒲沼近くにいる頃のことだ、鈴木伝明、田中絹代を主役に学生ものを製作し人気も絶頂にあった、従って彼も連日忙しかったし、撮影所も今のように労働基準法もないから徹夜も相当にあったものとみえる、だから牛原監督も家で坊やと遊ぶ暇さえなかったのだが、ある日のことその坊や当時五歳の陽治君が電車にはねられるという惨事が起きたのである、この悲しいニュースは早速撮影所に知らされ、牛原監督をはじめ伝明、絹代といった出演者が扮装のまゝ駈けつけたそうだが、この事件以来この街からスターの姿が一人、二人と消えていったという話だ、また島津保二郎監督もこの近くで最後の息を引きとったし、河村黎吉も池上線蒲田駅裏の自宅で死んだ、この葬式には沢村貞子、小林桂樹、伊豆肇などが参列していたが、卅年働いた松竹からは代表者が一人来ていただけだったとか、まったくこの街の話題は"スターのいる街"にしてはあまりにもわびしい、つまり、"スターのいた街"だったせいだろうか

坪内美子　木匠マユリ

「そこで何か明るい話をと駅前の喫茶店"K"に飛びこんできいてみる「そうですね、坪内美子さんがよく見えていましたね、細川俊夫さんとご一緒に…とても仲が良くてドラ焼の箱入りかなにか買ってお帰りになりましたが、いまはもうお別れになったのでしょう、お二人共見えませんが…」というのである、勿論この話も随分昔の風景だ、「ごく最近ですが、木匠マユリが外人の方と結婚してどこかへ引越しされたようですね、時々大きな外人に小さな木匠さんがブラ下って歩いているのを見かけましたよ」なんだそうだ、そして現在は坂本武唯一人が蒲田界隈に小さな自転車を乗り回してラジオ屋に行ったり肉屋でコマギレを買ったりしている、やはりこの街はサイレント時代のスターの街ということになりそうだ

坂本武

【次回は来週土曜、大森界隈】

ステージショウ

「虹の彼方」＝日劇＝

▽…アパートに住むミミー（雪村いづみ）バビー（旗照夫）ビンボー（ビンボー・ディナウ）の三人の芸術家の卵たちが描く三つの夢を中心に構成（山本紫朗）された一時間十分のステージ・ショウ

▽…やはりこの三人の歌をきかせるのが主眼目となっているために全体の流れが途絶え勝ちなのが気になるが、フンダンに持ち込んだNDTの踊りが歯切れのいゝ八木沼陸郎の振付を得て精彩を放っている、ナレーターに志摩夕起夫（イングリッシュ・アワーの司会者）を起用したのは思いつきだけでむしろ邪魔になった感、三つの夢をつなぐ手を他になんとか考えるべきだった

▽…ほかにジョージ川口とシックス・レモン・オール・スターズ、コーラスのダーク・ダックス（ギコチない）など出演、九日まで（橘）

【写真はその一場面、左から旗、ビンボー、雪村】

綠の火 ＝MGM＝

★…むかし〳〵マルコ・ポーロなる探検家がヨーロッパの國王や貴族たちに向い、探検の費用を出させるために一計を案じて「東洋にジパング（日本）なる国あり、家の玄関には金の砂利を敷きつめ、子供たちは黄金の塊で石ケリなどをして遊んでおる」などと大ボラを吹いて回ったものだ

★…この映画も三百年前に南米を征服したスペイン人が撒きちらしたホラ話をいまだに信じて、アンデス山脈の奥深く"緑の火"と呼ばれるエメラルドを探しに入った愚かな鉱山技師の話だ、大会社メトロがはるぐ南米のコロンビアへ長期ロケをやったシネスコだが、オチは"宝石よりも貴いのは愛だ"とグレンジャー技師とケリー嬢がメデタク結ばれるハッピー・エンドになっている【写真はその一場面、グレンジャーとケリー】

おしゃべり横町

リターン・マッチ

待ってるのは白井だけじゃないので、へへへ…

—ペレス

「カラコラム・ヒンズークシ探検隊」映画　日映新社が同行、製作

日映新社では地上屈指の大氷河及び大沙漠三万キロにわたって踏破しパキスタン、アフガニスタンの両国奥地の辺境に生物、地質、人類学などの観点からその科学のメスを揮う京都大学の木原均博士を総隊長とする「カラコラム・ヒンズークシ学術探検隊」に日映カメラマンを随行させこれを大記録映画として製作することになった、日映が派遣するカメラマンは林田重雄（本社技術課長）中村誠二（本社カメラマン）の両氏で、中村氏は七日カラチに向けて空路先発、林田氏は本隊と十四日に出発する

名選 都々逸　石井きんざ選

鯉の矢車あの吹き流し あたしも産みたい男の子　浦和・尾道 通夫

女房にや悪いがこころで詫びて 旅に一夜の浮気する　湯ケ島・鈴木 忠彌

願い叶っていで湯の宿に 着いたところでさめた夢　日本橋・敏 夫

土産に一とロのろけも添えて いでゆ帰りの新世帯　向島・君 福

やっと話の切れ目もついて 橋から別れる春の霧　文京・加藤 辰巳

◇

思い出にきっとなります嬉しい旅路 今朝はハッキリ見える富士　選者

はと笛

▽…つい先日の映画人東西対抗野球で東軍のピッチャーをやった池部良はとにかく「不滅の熱球」で沢村投手に扮したばかりなので試合前は自信たっぷりに

▽…「本気で投げればパーフェクト・ゲームだよ」などといっていたが、いざ試合開始となると、暴投はする打たれる、で早々にノックアウトされちゃった、後できいたら「沢村時代はね、ナイターがなかったのでね、ついうっかり昼間のホームで投げたわけさ」と判ったような判らない説明、あきれた応援団の青山京子が「そうよ池部さんって、ナイターことないものね」だと、いやはや

【写真は池部良】